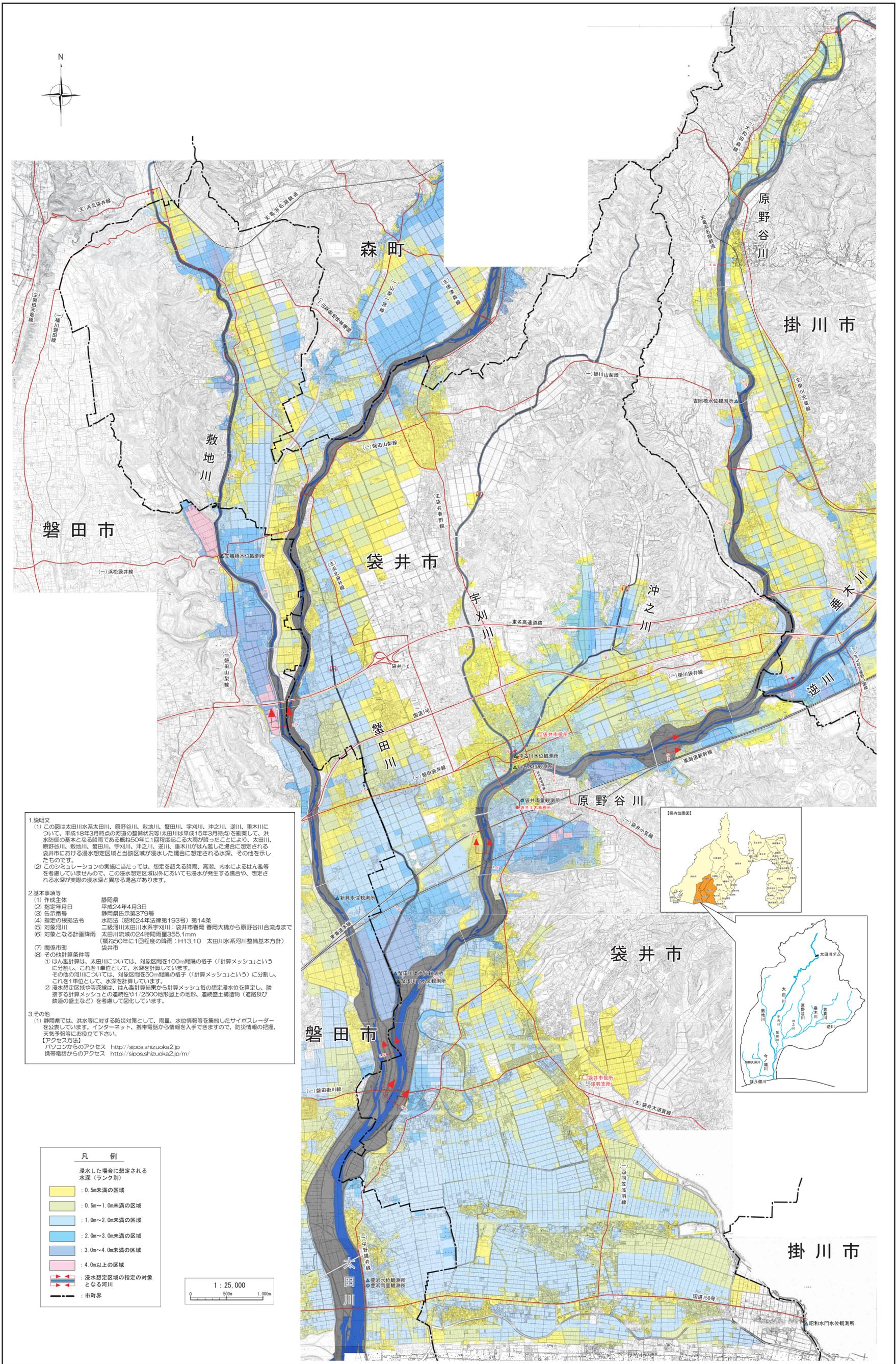


太田川水系（太田川・敷地川・原野谷川・蟹田川・宇刈川・沖之川・逆川・垂木川）浸水想定区域図：袋井市



1. 説明文

(1) この図は太田川水系太田川、原野谷川、敷地川、蟹田川、宇刈川、沖之川、逆川、垂木川について、平成18年3月時点の河川の整備状況等(太田川は平成15年3月時点)を勘案して、洪水調節の基本となる降雨である概ね50年に1回程度起こる大雨が降ったことにより、太田川、原野谷川、敷地川、蟹田川、宇刈川、沖之川、逆川、垂木川がはん濫した場合に想定される袋井市における浸水想定区域と当該区域が浸水した場合に想定される水深、その他を示したものです。

(2) このシミュレーションの実施に当たっては、想定を超える降雨、高潮、内水によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域以外においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 作成主体 静岡県
 (2) 指定年月日 平成24年4月3日
 (3) 告示番号 静岡県告示第379号
 (4) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条
 (5) 対象河川 二股河川(太田川水系宇刈川：袋井市春岡大橋から原野谷川合流点まで)
 (6) 対象となる計画降雨 太田川流域の24時間雨量355.1mm(概ね50年に1回程度の降雨：H13.10 太田川水系河川整備基本方針)袋井市
 (7) 関係市町 袋井市

(8) その他計算条件等
 ① はん濫計算は、太田川については、対象区間を100m間隔の格子(「計算メッシュ」という)に分割し、これを1単位として、水深を計算しています。その他の河川については、対象区間を50m間隔の格子(「計算メッシュ」という)に分割し、これを1単位として、水深を計算しています。
 ② 浸水想定区域等深線は、はん濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水水位を算定し、隣接する計算メッシュとの連続性や1/2500地形図上の地形、連続盛土構造物(道路及び鉄道の盛土など)を考慮して図示しています。

3. その他

(1) 静岡県では、洪水等に対する防災対策として、雨量、水位情報等を集約したサイボスリーダーを公表しています。インターネット、携帯電話から情報を入力できますので、防災情報の把握、対策準備等にお役立て下さい。
【アクセス方法】
 パソコンからのアクセス <http://sipos.shizuoka2.jp>
 携帯電話からのアクセス <http://sipos.shizuoka2.jp/m/>

凡 例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

黄色	: 0.5m未満の区域
薄緑	: 0.5m~1.0m未満の区域
薄青	: 1.0m~2.0m未満の区域
中青	: 2.0m~3.0m未満の区域
濃青	: 3.0m~4.0m未満の区域
ピンク	: 4.0m以上の区域
赤い矢印	: 浸水想定区域の指定の対象となる河川
黒い点線	: 市町界

